

1. 主催者・共催者名

- ・ 環境省 地球環境局 国際連携課 国際地球温暖化対策室
- ・ 公益財団法人地球環境戦略研究機関

2. タイトル

短寿命大気汚染物質（SLCPs）の削減：課題と機会

3. 目的・概要

急速な経済発展を遂げると同時に、深刻な大気汚染問題に直面しているアジア地域には、ブラックカーボン等の短寿命大気汚染物質（SLCPs）削減の大きなポテンシャルを有している。日本国は SLCP 削減のため、短期寿命気候汚染物質削減のための気候と大気浄化のコアリション（CCAC）への拠出や都市廃棄物イニシアティブ等への参加、アジア地域へのアウトリーチ等、様々な協力活動を実施してきた。本サイドイベントは、日本国およびアジア地域の SLCP 削減活動を紹介すること、及び、SLCP 削減のため関係各国（特にアジア各国）との協働を促進することを目的としている。

4. アジェンダ

1) 開会の挨拶 環境省地球環境審議官 白石順一氏

2) 発表

- ・ 「SLCP 削減概説と CCAC の活動、およびアジア太平洋地域における削減ポテンシャル」
公益財団法人地球環境戦略研究機関 持続可能な社会のための政策統合領域
エリアリーダー・上席研究員 Dr. Eric Zusman
- ・ 「MSWI に関する既存の活動、教訓、機会」
米国国務省 気候変動担当政府代表 シニアアドバイザー Ms. Emily McGlynn
- ・ 「SLCP に係る既存の取り組みおよび教訓：バングラディッシュの事例」
バングラディッシュ国環境森林省 ジョイントセクレタリー Dr. Nurul Quadir
- ・ 「ICIMOD の SLCP 活動」 SLCP activities at ICIMOD
バージニア大学・ICIMOD シニア大気科学者 Dr. Arnico Panday

3) パネルディスカッション

モデレーター：浜中裕徳氏 公益財団法人地球環境戦略研究機関 理事長

5. 発表・議事の概要

IGES : Dr. Eric Zusman

- ・ SLCP 削減はアジア地域において多くの注目を集めている。
- ・ CCAC は SLCP に関する活動促進のために設立されたボランティアな多国間イニシアティブである。
- ・ 日本国は、気候変動対策と大気汚染対策のコベネフィットをもたらす SLCP 削減を推進するため、CCAC、アジアコベネフィットパートナーシップ（ACP）、および他の国際的なイニシアティブに貢献している。

米国国務省 : Ms. Emily McGlynn

- ・ CCAC 都市廃棄物イニシアティブ（MSWI）は直接、世界中の都市で都市廃棄物からのブラックカーボンおよびメタンの削減に取り組んでいる。
- ・ MSWI は、メンター都市を奨励する事により実施する都市間交流を含んでいる。また、グローバル知識プラットフォームを開催する。

Bangladesh 国環境森林省 : Dr. Nurul Quadir

- Bangladesh は、SLCP 削減に取り組むため、CCAC を含む複数のイニシアティブに参加している。
- Bangladesh における主要な SLCP 排出源は調理用ストーブ、レンガ釜、車両、野焼き、パーボイルド米システム、水田、都市ごみ、家畜である。

バージニア大学・ICIMOD : Dr. Arnico Panday

- ICIMOD は最近、ブラックカーボンのヒマラヤの雪および氷への影響を調べるための調査プロジェクトを立ち上げた。
- ICIMOD は、大気汚染を追跡するために、衛星データ入手だけではなく、ブータンおよびネパールにモニタリングサイトを設置した。

6. 会場写真

